

失はれる。星数は割に少ない。

○龍座^o

赤經 18時 50.0分 赤緯北 59° 17'
4.6等 : 7.6等 位置角 346° 距離 30.3"
探しにくい星である。黄對青である。

○双子座^δ 二重星

赤經 7時 15.3分 赤緯 22° 8'
3.2等 : 8.2等 位置角 213° 距離 6.4"

黄對青の美しい二重星である。3時 80倍で立派に見える。

○²314 重星

赤經 2時 47.1分 赤緯北 52° 40'
7.1等 : 7.3等 位置角 304° 距離 1.6"

ペルセウス座に隣つた二つの星の大きな方で光度ほぼ等しく距離 1.6" であるから 3時の良い試験星である。非常に困難な星でよほど良い 3時レンズでないか二つには見えぬ。3時なら見えるが 150倍以上を要する。多分長週期の連星である。

○N. C. C. 1647 H. VIII 8 星團

赤經 4時 41.4分 赤緯 18° 55'

比較的大きな星の群で散開して居て 2時で立派に見える。直径も大きい。

○M 7 8 N. G. C. 2068 星雲

赤經 5時 42.6分 赤緯北 0° 2'

オリオン^ζの 2°北にある不正形の星雲でリツクの寫眞では此の中に二三の星が混じて居る珍しい形のもので 3時でも珍な形をして居る此のすぐ北側に小星のそばにも一つ星雲がある。此のバックはオリオン星雲のあたりから北に延びて居る暗黒星雲部で薄星が少ない事で分かる。

○M 37 N. G. C. 2709 散開星團

赤經 5時 47.1分 赤緯 32° 32'

非常に美しい星團で肉眼にも見える。星は割に小さいから 2時ではそう澤山は見えぬが 10時には壯大なものであつて星團中最美の一つである。

火星近況

火星の最近の観測及び豫想を御知らせする爲に観測日記の様にして連続したものを書きます。

12月1日

午前6時

3時 150倍 Seeing 6

視直径未だ 4秒で空気が悪く甚だ困難。像は鋭く明瞭である。兩極は明るく爲に火星は桃形になつて居る。南極近くに明らかに暗色の海を認める。北極近くにも淡いものが認められる。

訂 正

前號「事務室より」中に廣告せし Wonders of the Heavens (Splenders of the Heavens にて 1ポンド 3シリリングは 1シリリング 3ペンスの誤につき訂正す。